

## 那珂市議会 議会運営委員会記録

開催日時 平成30年10月12日（金）午前11時30分

開催場所 那珂市議会第2委員会室

出席委員 委員長 寺門 厚 副委員長 大和田和男

委員 筒井かよ子 委員 木野 広宣

委員 萩谷 俊行

欠席委員 委員 笹島 猛

職務のため出席した者の職氏名

議長 君嶋 寿男 副議長 古川 洋一

事務局長 寺山 修一 次長 清水 貴

次長補佐 横山 明子

会議に付した事件

(1) 「議員と語ろう会」について

…当日の進行方法を確認

議事の経過（出席者の発言内容は以下のとおり）

開会（午前11時04分）

委員長 おはようございます。

9日に鳥羽市議会、10日に四日市市議会の視察研修ということで、大変お疲れのところとは思いますが、きょうは20日、21日の「議員と語ろう会」の進め方について審議をしていただきたいというふうに思います。

それでは、ただいまの出席委員は5名でございます。

欠席委員は笹島委員の1名です。

定足数に達しておりますので、これより議会運営委員会を開会いたします。

職務のため、議長、副議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 皆さんこんにちは。

本日は議会運営委員会にご出席まことにご苦労さまです。

また先ほど委員長からも話がありましたように、9日、10日、三重県鳥羽市議会、そして四日市市議会と2日間にわたりましての視察研修、まことにご苦労さまでした。

両市とも議会改革が大変進んでいるところが、参考になったかなと思います。

これからも寺門委員長を中心に那珂市議会もさらなる議会改革に向けて進んでいただければと思っております。

また来週に控えました「議員と語ろう会」、きょうはその点につきまして、皆さんと打ち合わせをさせていただきながら進めていただければと思っておりますのでよろしくお願

いをいたしまして、挨拶にかえさせていただきます。

本日はまことにご苦労さまです。

委員長 ありがとうございます。

それではこれより議事に入ります。

「議員と語ろう会」についてを議題といたします。

まず、本日配付されております資料について事務局より説明をお願いします。

次長補佐 それではお手元に、議員と語ろう会についてという資料と当日の配付資料の案をお配りさせていただいております。

まず議員と語ろう会についての資料をごらんください。

語ろう会の概要ですけれども、簡単に事務的な部分を説明させていただきます。

まず、こちらの当日の配付資料のほうなんですけど、こちらは会議次第、それから那珂市議会の概要、議会の構成表、それから意見交換の際に使用します、意見交換シートが3常任委員会分、それとアンケート用紙を1つにつづったものでございます。

こちらなんですけど、今回グループ分けして、3つのグループに分かれますので、ABCということで委員会ごとに区分けをいたしまして、こちらの資料を来た方にABC、ABCという順でお配りいただきまして、もらった資料のある席についていただくという形で考えております。

その下で、テーマに関連する資料などは各自ご持参ください。

会場は10月20日土曜日、中央公民館2階の講座室、21日日曜日は瓜連支所隣の分庁舎2階の会議室となっております。

準備等がありますので、集合時間は午前9時10分とさせていただきます。

駐車場なんですけど、来場者の方が車をとめやすいように、中央公民館のほうは事務所前の砂利の駐車場、瓜連支所は、手前のテニスコートのところに職員駐車場がございますので、そちらにとめていただきたいと思います。

会場の予約時間はいずれも9時から12時30分までとなっておりますので、時間内に片づけまで終了できるようにご協力をお願いいたします。

続いて、めくっていただいて2ページ目なんですけれども、まず20日の中央公民館講座室のほうは、準備物としてこのようになっております。

会場内に横断幕を、今までもつけておりましたけれども、それと同じような形でつけるのと、あと今回会場がどちらも2階になりますので、1階の入り口のところと2階のほうに案内掲示をしたいと考えております。

当日持っていくものとしましては、配付資料と議会だよりの最新号、それから、筆記用具などの文房具、最後にアンケートを回収しますので、その回収箱、それからネームプレート、あとICレコーダー、カメラを用意いたします。

それと今回お茶とお茶菓子を出すということになっておりますので、お茶のほうは、ペ

ットボトルのお茶を人数分ということで用意いたしまして、お菓子のほうは、お皿にのせて、テーブルに適当に配置して取っていただくような形で考えております。

あと席割りのための表示、クリアファイルにA4用紙でABCということですが、座席のテーブルのほうにA、B、Cという表示を出したいと思います。

それから3番、当日の出席議員と役割分担については別紙1ということで次のページになります。

こちらは20日、21日、それぞれの役割分担が書いてございます。

寺門委員長のほうは総合司会ということで、全体の進行管理ということで、各テーブルには入らずに、全体を見ていただくということになっております。

会場の設営図でございますが、役割分担表の次のページになっております。

中央公民館の講座室、こちらは縦長というか、ちょっと正方形ではない会場ですけれども、階段を2階に上がっていただいて、講座室に入る手前の廊下のところに受付テーブルを出して、こちらで受付をして、この一番受付に近い手前の入り口から主に出入りをしていただくということで、そちら側の入り口に近いほうの壁に横断幕を貼りまして、こちらの壁側に音響の設備がありますので、こちらを正面ということで考えております。

テーブルのほうはABCの3つを行き来がしやすいように、若干互い違いにして3つ配置する予定でございます。

20日の事務局の出席者は前のページに戻りまして、事務局長と小田部、小泉の3名で出席いたします。

続いて10月21日、瓜連支所の分庁舎でございますが、2階の会議室となっております。

こちらにも用意するものについては同じでございます。

会場のほうは、先ほどの公民館の配置図の次のページ、大体同じづくりです。縦長の感じになっておりまして、日曜日ですので、社会福祉協議会のほうも閉まっていますので、支所のほうであけていただいて、そのまま入って2階に直接上がっていただくような形になります。

上がってやはり会議室の正面のところに受付テーブルを出しまして、そちらから主に出入りをするという形になりますが、こちらは3つのお部屋のあいだを取り払って使うような形になりますので、まず準備といたしましては、稼働式の扉があるので、パーティションを2つ分ぶち抜く形ですのでそれをまず畳んでいただいて、1つのお部屋として使うような形で入り口入って一番奥のところに音響設備がありますので、こちらを正面ということで、横断幕を貼るような形で考えております。

その裏面にカラー刷りの地図が入ってますけれども、赤で囲った部分、こちらが職員駐車場になっておりますので、こちらに車をとめていただきたいと思っております。

21日の事務局の出席は、次長と私と小泉で出席させていただきます。

私からは以上です。

委員長 事務局の説明が終わりました。

それでは、きょうの午後を開催します全員協議会のリハーサルに向けて、私のほうから進め方についてご説明をいたします。それでご意見等をいただきたいなというふうに思います。

まず始める前に、議員の紹介ということで、自己紹介ということで進めさせていただきます。今回はより親近感をもたせようということで、まず最初に好きな果物、趣味、3つほど言うようになるんですが、好きな趣味ということで私は、釣りが好きな寺門ですというふうに紹介をして、来ていただいたグループの方々についても、私は菅谷地区のゴルフの好きな山本です、というふうに最初言っていただく。

次に、グループが違って、常任委員会が変わりますので、そのときも同じに、次2つ目、今度は好きな果物を何か1つ言っていただいて、釣りが好きで果物はバナナが好きな山本です、よろしく申し上げますというふうに。

3回目はもう一つ、味噌汁の具で好きなものを1つ追加していただきまして、3回自分のことを言ってください。釣りが好きでバナナが好きで、味噌汁の具は大根が好きな山本ですというふうに、そのグループで言っていただいて始めていただくということになります。

参加していただいた方は先ほど言いましたように、ABCでそれぞれ座っていただいておりますので、最初確認のため、班の方は名札をつけてくださいということで、ネームプレートをその場で書いていただいてつけていただくようになります。

地区名とお名前、お名前はフルネームをお願いしますけれども、苗字だけでも結構ですというお話をします。我々もネームプレートはつけます。

名刺を入れてもいいですし、当然議員のほうもネームプレートを用意してありますので、つけていただいてお話を進めていくということで予定をしています。

それぞれ自己紹介をして話をしていくわけですがけれども、最初にきょうは限られた時間ですので、せっかくおいでいただいておりますので、それぞれの常任委員会ごとの話題についても、語っていただきたいなということで班分けをしていますということと、それぞれ30分ごとにグループは最初、総務生活です、次に教育厚生が行きますよ、最後に産業建設が行って、それぞれについて30分ずつお話ししていただきますというふうに説明をいたします。

それぞれ始める前にグループでさっき言った紹介をしていただければ、それでスタートということになります。この辺はよろしいですね。

30分の5分前にチンを鳴らします。5分前になりましたということでお知らせをします。

そうしたらグループの各常任委員会の司会の方は、あと5分だなということでもとめといますか、時間を気にしていただいて進めていただければと。

30分なりましたらチン、チンと鳴らしまして、以上で終了しますということで、次、各

常任委員会で入れ替えをお願いしますということで入れ替えをしていただきます。ですからその入れ替え表をテーブルの上に1枚貼っておきますので、1回目はどこどこが来ます、次はここですっていうふうに。あらかじめ次はそれぞれ総務生活はCへというふうに言いますので、議員のほうが移動しますから、市民の方はそのまま固定で座っていただきます。

議員が移動するのでまた初対面になるので、もう一遍さっき言った挨拶、自己紹介というか、誰々ですというのを、誰々ですと言うだけではちょっとあれかなということで3回好きなものを言ったら、少しは親近感がわくのかなということで設定をしました。それは司会のほうで説明していただいて。

冒頭、今回は3つの常任委員会がそれぞれテーマを用意しております。せっかくですので皆さん、それぞれ語り合っていたきたいなということで設定しましたということで、あらかじめ申し上げます。それで了解を得たということで進めさせていただくという形をとります。

どうしても聞きたくないとか、言いたくないとか、その辺はせっかくですからほかの2つをお聞きいただくなり、ご自分の意見を言ってくださいねということで、改めてお願いをするということになると思います。

これも30分、最後はスケジュールで計算すると大体12時ジャストぐらいに終わるようにはなるんですけども、時間どおりいけばね、その延長を最終会場は12時半ということになると、やっぱり遅くとも12時10分ぐらいには終わり、アンケート書いてその辺はちょっと時間のほうを、あとは途中でもう切らざるを得ないのかなというふうに思ってます、30分でね。

せっかく会話がはずんでいるところ申しわけないんですが、時間の都合上、次に移っていただきますというような話で進めさせていただくということになると思います。

それが一応全部終わりました、あとは、もう一つの進め方のときに、テーマは、例えば総務生活ですと環境と防災でしたかね。大きなテーマなので、それは皆さんの意見をランダムに聞くのかどうかもその判断にお任せします。

萩谷委員 総務生活で勝村副委員長と話したんですが、防災がテーマで、原子力の話が出てしまう可能性があるから、それだけは、原子力の委員会が別にあるからということも冒頭に言おうという話をしているんですが、それはどうでしょうか。

委員長 最初はその意見を聞いて、いろんな意見も出て、次のグループに行ったときに、前のグループでこういう話が出て、意見も多かったもんでこの話で、ちょっと深くお話ししてみませんかという持っていき方もあると思うんですね。

萩谷委員 原子力に関してはなしじゃなくて、話は聞くと。

議長 それは司会者が進める中で調整しなきゃならないですね、私が初日で、委員長が2日目ですから、総務生活は。

萩谷委員 これに原子力の話が入っちゃうと、そればかりになってしまうと思うんだよね。

議長 それは司会 2人で打ち合わせしましょうよ。

委員長 所管の事項でということもつけ加えないといけないということですね、冒頭に。

萩谷委員 原子力はそこばかり集中しないようにうまくやれば、それなりに話は聞けると思いますが、原子力の委員会のほうに話は持っていかないとね。

委員長 担当常任常任会がございますのでということで。環境に絞っちゃってもいいと思いますよ。

議長 そこで話が出て、30分の間に、その内容の進め方で、答弁っていうのはどこまで入れていいか。結局その辺は答えるのに。

委員長 常任委員会所轄の事項だけですよね。答えられるのは。あとはもう要望については聞いて後ほど回答するという形ですね。

萩谷委員 ある程度あっさり聞いて終わりにしちゃわないとね。

委員長 それは今までと同じで、その場では回答しない。

あとはきょうは話題をこうすることで限定をさせていただきますのでということで言うていただければ、時間の都合もね。

副議長 委員長から最初に、きょうは防災と環境ということですけど、原子力とはまた別の所管なのでと言っても、おれはそれが言いたくて来たんだという人もね。それについての議論はなしにしても、一言言わせろという人はいますよね。聞きませんというわけにはいかないですよ。

議長 聞いたほうがいいよね。その人の考えを聞いて、それについてはここで議論するのではなくてと言って。

委員長 それについては、言い足りないもしくはもう少し深く言いたいっていう方については後ほどご意見箱とかファクスなりメールなりでお寄せいただきたいと思いますということ。

それで話しやすい環境ということで、趣味なんかも入れて言うという自己紹介と、あとキャラクターグッズを持ってお話をすると、あまり余計なことも言わず、一応持っている間だけ。

その時間は1人何分とは決められないので、一応用意はするんですが、その辺もどうですかねっていうことなんです。

それともう一つ出た意見について、記録の方は書き込みますけど、ポストイットに書いて後でペタペタ貼っちゃってもいいのかなと。テーブルの上に置いて見えるようにしておけば。

ちゃんと聞いたご意見は大切に、結局はもう少し深堀りはしなくちゃいけないんで。これで貼っておけば、次のグループに行ったときにはちょっと最初のグループとは違う話になりますけど、深堀りができるということにも使えますし、こういうことがありました、

どうですかね。

これ以外という方向での話の向け方もできるのかなと、余分なことを言わないように。というグッズにも使えるなということなんで、記録の方はちゃんと全部書いていくというの。後ほどまとめなくちゃならないんですけどね。その辺はポストイットであれば、後ほど常任委員会でまとめるときもまとめやすいのかなという気はしますね。

マスコットキャラクターを持って話すというのはいかがですか。

ちょっと事前に打ち合わせしても、渡すのが遠いなということもあって、現実には、だいたいこういう広さになると思うんです。テーブルを並べちゃうと、だから遠くなっちゃうんで、現実はどうかなと。

萩谷委員 テーブルに置いておくのはよいと思います。なごみますよね。

委員長 きょうは置いておくだけ置いてみようかなという話にはしたんですが、それともう一点は、このテーブルの間隔でいいですかねということもあるんですが、実際の一応これのパターン、これをもうちょっと中へ入った。

副議長 このレイアウトだと3つ並べるんですよ。真ん中のテーブルにそういう小道具を置いておけばいいわけですよ。みんなで見られるように。

だから真ん中あけちゃうと……

委員長 あけない。遠いし、テーブルはこの3つだけでいいんじゃないのという意見もあったんですけど。

何人来るかわかりませんが、一応これ10名を想定はしてるんですが、実際記録の方はテーブルが必要だと思いますんで、それは座っていただいて、あとはもうぐるっと囲んでもらえばいいのかなって気はするんですけど。そうすると机を余分に並べなくていいのかなと。皆さんの手間も省けるかなということなんです。

副議長 ちょっと確認ですが、受付でグループ分けしちゃう、一緒に来た人は同じグループにしてあげるんですか。それとももうランダムに。

委員長 ランダムにしちゃいます。申しわけないですがということで。

A B Cで当日、セットされたものが並んでいますので、上から取っていくともうA B Cで分かれるということです。

副議長 ということは一緒に来れば当然別のグループになるということですね。

委員長 例えば極端な話すると、5人で一緒に来ました、私たち離れたくないということになると。まあ、分けざるを得ないですよ。5人も一緒に固まったんでは。

副議長 例えば原子力関係の人が団体で来て、これだけ話に来たんだってなっちゃうと、子育てはどうでもいい、そういう話になっちゃうとね。

萩谷委員 やっぱランダムにね。3つを順番に回ったほうがいいですね。

委員長 途中で退席というか、用事があるので帰りますという方はやむを得ないなというふうには思います。

副議長 あと記録は基本的には写真を撮ればよいということですか。記録を取っておくということですか。

委員長 シートに記録を取ってください。レコーダーも3つありますので、念のためそれは取っておいたほうがよいと思います。

副委員長 写真は事務局でやってもらえるので。

木野委員 記録シートは1枚ですか。1回終わったあとどのように。

次長補佐 拡大したものは各テーブルに3回分用意して、記録のための用紙は多めにお配りしておきます。

委員長 事務局に会話風景は撮っていただいて、最後にアンケートを書いてお帰りいただくということで。

議長 テーブルで出た意見をそこに付せんで貼り出すだけじゃなくて、結局その人たちがいろんな声を出したものとか意見を言ったものはまとめて、次にどういうふう to 回答するかとか。そういうのもちゃんとやっておかないと。ただそこで言っただけであとはどうなんだって言い出す人も。

委員長 それはもう深掘りが必要なものは各常任委員会ですべてまとめて、深掘りをして反映させるものは反映させる、あとフィードバックするものは議会だよりでお知らせすると。

筒井委員 例えば本人が答えが欲しいと言った場合は。

議長 議会だよりで出しましょう。個人には出さないで。

委員長 議会としての対応ということで。出すのであれば、常任委員会名になるとは思いますけどね。答えられないものもあるし。

萩谷委員 以前から個人的な意見は出さないということでやってますからね。

委員長 議会としてこうですよ。

木野委員 アンケートの時間ってあるんですか。

委員長 残り10分ぐらいはありますね。終わって、もう時間はきちきちですよ。

我々の司会の説明も長々とはやらないので、書いてあることは全部読まないで、短くしてあと進め方だけさっきのをきちんと言うところは言って、お願いするところをお願いしてということですね。

副議長 30分の中で結論を出す必要はないということですね。

委員長 ないです。意見、要望でもいいですし。

副議長 ただ、あれを使ってやるのは、この間の勉強会のように、例えば一つの子育てについてであれば、どういうのが必要だとかその必要なものについては、時間がかかるとかお金がかかるとか手間がかかるとかってものをやるためのあれでしょ。

それってテーマがあればそういうことができるでしょうけど、おれの要望、私の要望ってやられちゃうと、その要望をただ貼ってもらっただけで。

委員長 そこまで深掘りができればいいんですけど、それが討論形式になればいいんですけど、

そこまで多分いかない、意見、要望、提案が多いと思います。

副議長 ある程度、司会がこのテーマでどうですかというふうにテーマをさらに絞ってもやりやすいのかもしれないですね。何かありますかって振っちゃうと、意見を出してもらっただけで終わっちゃうから。各常任委員会の考えでいいでしょうけど。

委員長 ちょっと分野が広すぎるのでということで、今回こういう話題でいいですかというような投げかけで話に入っていくのも手だと思いますね。狭くするために。

副議長 リハーサルの中で、各常任委員会に分かれてやるんでしょうから、ある程度その辺もどういう進め方をするかというのは、各常任委員会の中で話をしてもらって。

委員長 そうですよ。きょうは市民の方はいないので、市民役をやってもらって、30分どころまでというのは。あとは2日にわたりますので、同じ話題はね、中身はちょっと違ってくと思いますが、それだけは各司会者のほうは一応気をつけていただきたいければ。何人来るかが正直読めないの。

木野委員 確認なんですけど、私は21日なので、20日にも行こうと思っているんですが、前回、議員が来て、なぜ前に座らないのかと言われたことがあったので、見たいけど中に入っただけかなと。

萩谷委員 それは市民の皆さんに説明するしかないですよ。せっかく2日間に分けてるんだから、一緒に座っちゃったら分けてる意味がなくなっちゃうから、それはご理解いただくしかないでしょうね。

委員長 見学じゃなくて、常任委員会のサポートということで。会場サポートも含めておりますということで。

議長 もしグループでそういう話が出たときは、2日間にわたって皆さん役割が分けてありますのでということで、ちょっと言えば。

委員長 あとは司会のほうできょうは会場サポートで、3名ほど来ておりますということで紹介しちゃうかですね。

学校形式だと座らなくちゃということになるんですけど、今回来る方はどういう人が来るかわからないんですけど。

議長 今回やってみて、またいろんな課題が出ればそれを改善して、今度は逆に言えば団体に行くとかね。この間の視察で行って研修してきた内容のように、いろんな団体に足を運ぶとか、そういうやり方も考えながらいろいろ、そのスタートとして今回やってもらって。

副委員長 事務局には何か問い合わせありますか。どういうことをやるのかとか。

事務局長 いつやるのか、どういう形でやるのかという問い合わせはありました。

それから、ネームプレートなんですけど、必ずこういうところに出る方で、名前を書きたくないという方がいらっしやると思うんですよ。そういうときの対応も考えておいたほうがいいと思います。

議長 意見を言うときはきちんと地区名と名前を言ってもらうんだからね。

事務局長 こういう一般の方を呼ぶ場合は、名前を言いたくないという方が必ずいるんです。

名前を書くときはテーブルで委員長のほうからちゃんと言っていただけと思うんですが、その時に書きたくないとか言いたくないという方が必ずいますので。いなければ問題ないんですが。

委員長 でも意見を言うときには皆さん名前を言いますよね。その前に自己紹介のときに言いますからね。自己紹介でも言わないというわけにはいかないでしょう。皆さん同じグループですから。

副議長 どういうふうな対応を取るのか。

意見がここから世の中に出る可能性もあるわけだから責任持って名前を言っていたかかないと困ると。だからネームプレートもそういうような対応を受付でしていいのか。

書きたくないというんだったらそれもいいでしょうとするのか、そこを決めておいてもらわないと受付が。

名前書かせるんだったら帰るといふ人ももしかしたらいるかもしれないし。

委員長 それにしましょうよ。

副議長 そこははっきり決めておいてもらわないと。

委員長 これは書いていただくということで。

筒井委員 書きたくないと言った場合は。

委員長 申しわけないですが、おいでいただいた方に書いてもらっていますと。

事務局長 名前書くのは受付じゃなくて中に入ってからですよね。

副議長 でも受付で言うんですよ。これに名前書いてくださいって。

事務局長 テーブルのところに置いておくという話を聞いていますが。

副議長 そういうことですか。置いておくのね。受付で渡すんじゃなくて。

委員長 でもまあ、座っちゃって自己紹介してから書いてもらったほうがいいか。ネームプレートに書いてくださいねと。

順番を逆にしますか、自己紹介をしたら、今ご紹介をそれぞれしましたので、ネームプレートに書いて入れておいてくださいということで。

萩谷委員 座っちゃってから帰るってのはできないよね。

副議長 受付との1対1だともめますけど、みんなのいる中で書いてくださいと言うのは逆にいやだって、言いづらいですよ。逆にそのほうがいいかもしれないですよ。

委員長 市民の方が何人もいらっしゃるんで。

次長補佐 そのネームプレートなんですけど、秘書広聴課から借りてきますので、必ず帰りに回収していただきたいんです。

胸に付けるようなタイプで、挟むことも、ピンで刺すこともできますが、その形でのよろしいですか。それともひもがついているものとどちらがいいでしょう。

委員長 いや、胸でいいでしょう。

筒井委員 女性の場合は、挟むものがないんですよね。だからピンで刺すしかないんですけど。

副議長 ピンを刺したくないという人もいますよね。

筒井委員 私はどちらかというとな首から下げるほうがいいんですが。男の方は胸ポケットがあるから。

萩谷委員 男の人も背広でなければならないですよ。スーツで来る人ばかりいないものね。そっちを考えないと。首かけのほうがいいのかもしいね。

次長補佐 簡単なものだったら50枚単位で売ってるんです。

委員長 じゃ買って置いてもいいけど、それは。下げるやつでいいよね。

50あれば大丈夫でしょう。買っておきますか。

次長補佐 ひものやつで長さ調節はできないんですが。

議長 それでいいんじゃないですか。

副議長 長さ調節ってできないんですか。

議長 後ろで縛っちゃうしかないね。

副議長 なぜかと言うと、せっかく書いてもらっても見えないんです。下までいっちゃうからね。ちょっと短めに設定してもらって、やっとな頭が入るくらいで。

議長 ネームプレートが見えるように皆さん調整してくださいって。

委員長 きょうのリハーサルは1時からですね。

副議長 リハーサルはどんな感じで。

委員長 きょうのリハーサルはさっき言ったように、自己紹介含めて1回目やって、2回目移るまでかな。それで終わります。それで、あとはアンケートをやると。

全員協議会をやって、一度締めてからリハーサルをやります。リハーサルでいろんな意見を出していただいて、20日、21日を成功させたいと思いますのでよろしくお願いします。

以上で、議会運営委員会は終了いたします。お疲れさまでした。

閉会（午後0時17分）

平成31年2月13日

那珂市議会 議会運営委員会委員長 寺門 厚